

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【公開番号】特開2016-170418(P2016-170418A)

【公開日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-056

【出願番号】特願2016-75831(P2016-75831)

【国際特許分類】

G 02 B 5/30 (2006.01)

C 09 J 4/02 (2006.01)

C 09 J 11/06 (2006.01)

B 32 B 27/00 (2006.01)

B 32 B 7/02 (2006.01)

【F I】

G 02 B 5/30

C 09 J 4/02

C 09 J 11/06

B 32 B 27/00 D

B 32 B 7/02 103

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月14日(2017.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

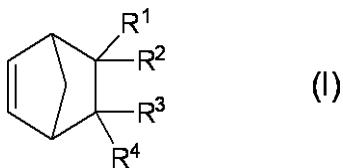
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ラジカル重合性(メタ)アクリル系化合物と、下記式(I)：

【化1】



(式中、R¹、R²、R³及びR⁴は、それぞれ独立して、H原子であるか、又は、O原子及びN原子から選択される少なくとも1つのヘテロ原子を含む置換基である。R¹及びR³がH原子であり、R²及びR⁴が前記置換基であるとき、R²及びR⁴は、それらが結合しているノルボルネン環の2つのC原子と一緒にになって環構造を形成してもよい。)

で表されるノルボルネン系化合物と、

ラジカル重合開始剤と、を含有し、

前記ラジカル重合開始剤は、活性エネルギー線の照射によって前記ラジカル重合性(メタ)アクリル系化合物の重合反応を開始させるものである硬化性接着剤組成物。

【請求項2】

偏光フィルムと熱可塑性樹脂フィルムとを接着するための硬化性接着剤組成物である請求項1に記載の硬化性接着剤組成物。

【請求項3】

R¹、R²、R³及びR⁴の少なくとも1つが前記置換基であり、
前記置換基は、-C(=O)-、-OH、及び-NH₂からなる群より選択される少なくとも1つの構造を含む請求項1又は2に記載の硬化性接着剤組成物。

【請求項4】

前記偏光フィルムと、その少なくとも一方の面に接着剤層を介して積層される熱可塑性樹脂フィルムとを含み、

前記接着剤層は、請求項1～3のいずれか1項に記載の硬化性接着剤組成物の硬化物層である偏光板。

【請求項5】

前記熱可塑性樹脂フィルムは、ポリエステル系樹脂、ポリカーボネート系樹脂、ポリオレフィン系樹脂、(メタ)アクリル系樹脂、及びセルロースエステル系樹脂からなる群より選択される樹脂で構成される請求項4に記載の偏光板。